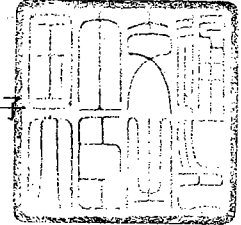


# 認 定 書

国住指第 7907 号  
平成 14 年 12 月 25 日

積水化学工業株式会社  
代表取締役 大久保 尚武 様

国土交通大臣 林 寛子



下記の構造方法又は建築材料については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ[防火区画貫通部 1 時間遮炎性能]の規定に適合するものであることを認める。

## 記

1. 認定番号  
PS060FL-0073
2. 認定をした構造方法又は建築材料の名称  
給・排水管/モルタル・アルミニウムはく積層紙・黒鉛含有ブチルゴムシート  
充てん/床耐火構造/貫通部分（中空床を除く）
3. 認定をした構造方法又は建築材料の内容  
別添の通り

## 1. 構造名

給・排水管／モルタル・アルミニウムはく積層紙・黒鉛含有ブチルゴムシート充てん／床耐火構造  
／貫通部分（中空床を除く）

## 2. 寸法及び形状等

(寸法単位：mm)

項目	申請構造
開口部	(形状) 円形 (面積) 0.005m <sup>2</sup> 以下 (φ0.08m以下)
占積率 (開口面積に対する給・排水管断面積の総合計の割合)	さや管 (架橋ポリエチレン管) 27.6% 以下 被覆付架橋ポリエチレン管 15.0% 以下
貫通する床の構造等	ALCパネル 厚さ 100以上 コンクリート 厚さ 70以上

3. 材料構成

(寸法単位：mm)

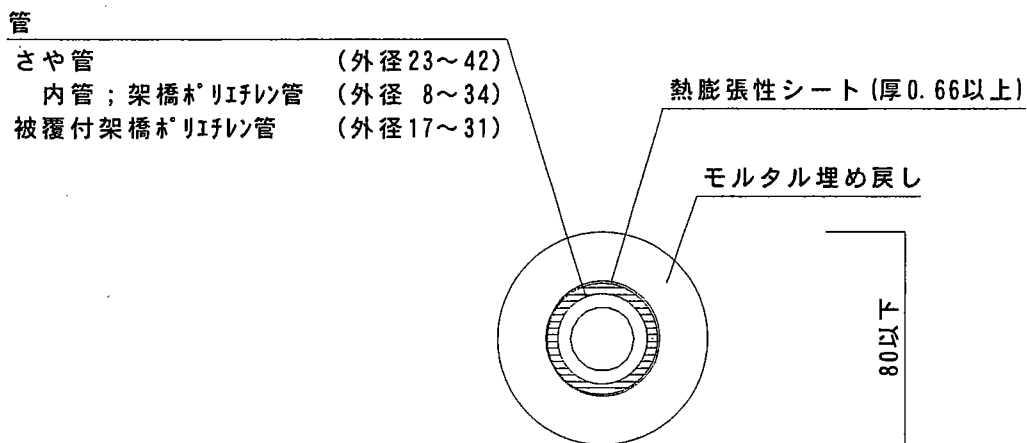
項目		申請構造	
給・排水管	さや管	外径	23.0~42.0
		内径	17.0~36.0
	架橋ポリエチレン管	規格	JIS K 6769, JIS K 6787
		外径	8.0~34.0
	被覆付架橋ポリエチレン管	内径	4.8~26.0
		規格*	JIS K 6769, JIS K 6787
被覆フィルム		エラストマー樹脂	
外径		17.0~31.0	
防火措置材料	膨張材 (以下、熱膨張性シートという)	内径	9.8~20.5
		充填材	
	充填材	材質	モルタル
	厚さ	100以上 (コンクリートの場合70以上)	

\*：被覆を除く素管の規格を示す。

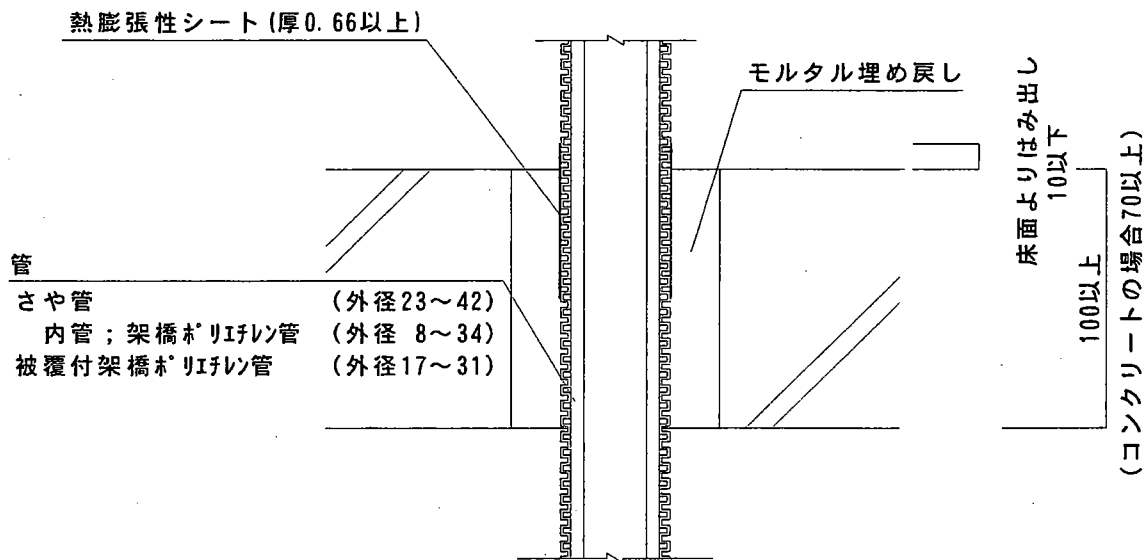
4. 構造説明図

(寸法単位：mm)

・正面図



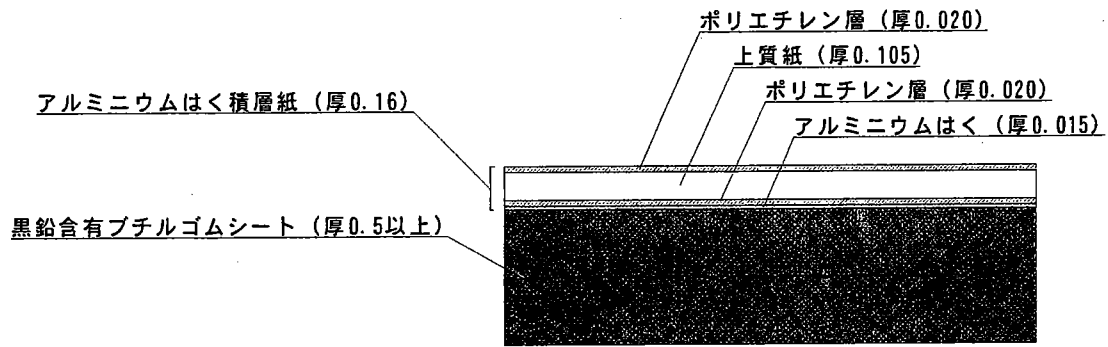
・断面図



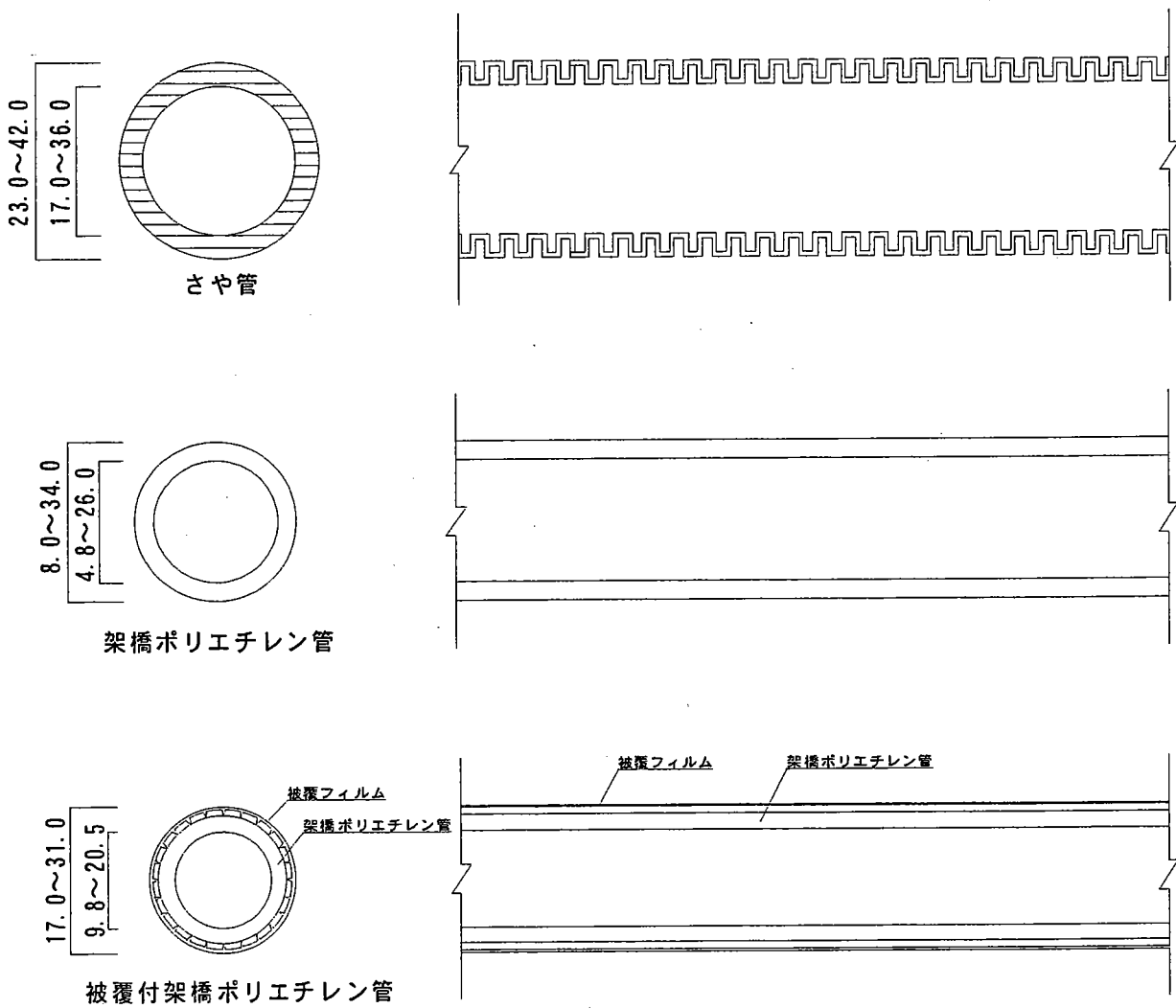
注) 寸法は3のとおり

(寸法単位：mm)

### 熱膨張性シート図



### 管断面図



注) 寸法は3のとおり

(別添-4)

## 5. 施工方法等

### <施工手順>

#### A. さや管の場合

##### (1) 事前準備

###### (1)-1 開口部の設置

管が区画貫通する位置に予め開口部を設置する(開口径φ80mm以下)。

##### (2) 区画貫通処置

###### (2)-1 配管前の場合

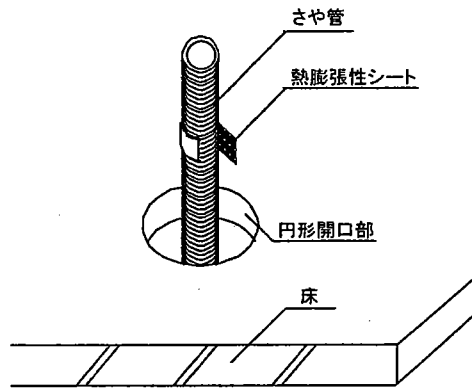
###### ①熱膨張性シート巻き付け位置の設定

熱膨張性シートを巻き付ける位置に墨出しをする。

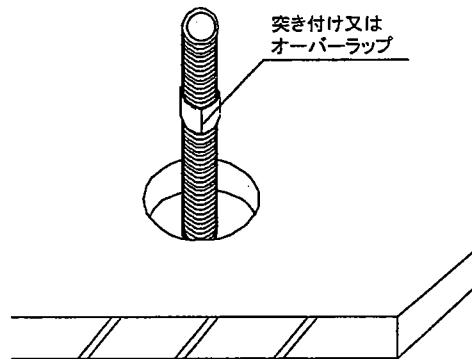
墨の位置は巻き付けた熱膨張性シートが確認できる程度(床面より10mm以下)の位置となるようにする。

###### ②熱膨張性シートの巻き付け

上記墨出しした位置に従い、熱膨張性シートを巻き付ける。熱膨張性シートは巻物のまま直接管に巻き付けてもよいし、所定の長さに予め裁断したものを巻き付けてもよい。

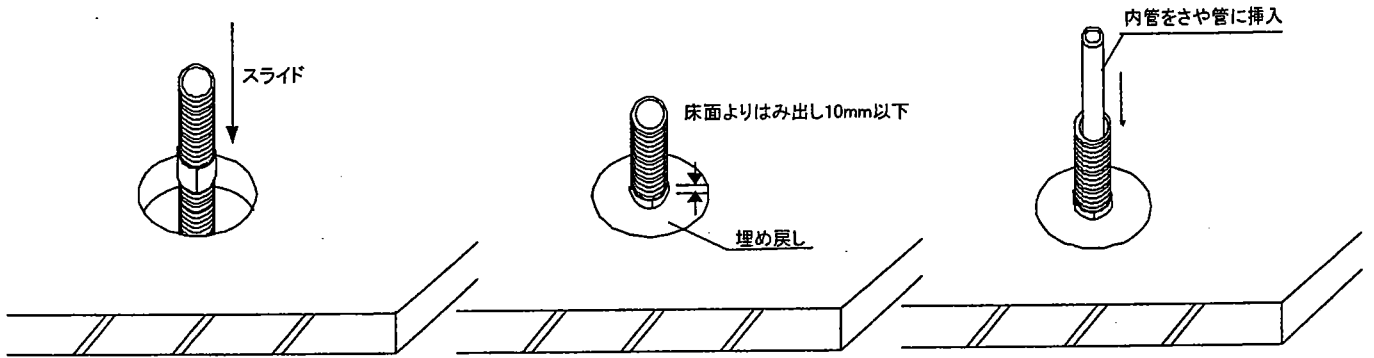


また、熱膨張性シート巻き付けの初端と終端は隙間なく必ず接するように巻き付ける(オーバーラップ可)。



③開口部の埋め戻し

管をスライドさせ、所定の位置に設置し、開口下部に当て板をあて、モルタルで埋め戻しする。



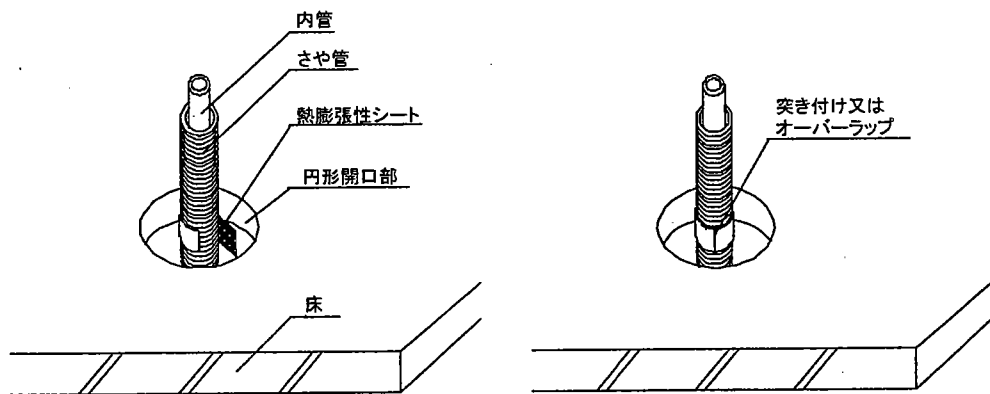
(2)-2 配管後の場合

①熱膨張性シート巻き付け位置の設定

壁面より10mmの位置に墨出しをする。

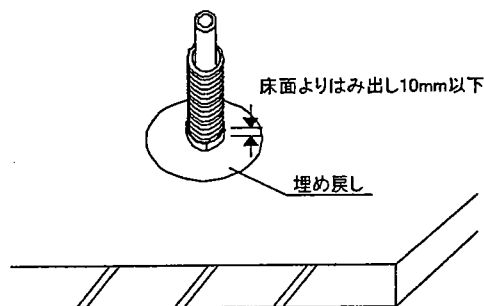
②熱膨張性シートの巻き付け

上記墨出しした位置に従い、熱膨張性シートを巻き付ける。熱膨張性シートは巻物のまま直接管に巻き付けてもよいし、所定の長さに予め裁断したものを巻き付けてもよい。また、熱膨張性シート巻き付けの初端と終端は隙間なく必ず接するように巻き付ける(オーバーラップ可)



③開口部の埋め戻し

開口下部に当て板をあて、モルタルで埋め戻しする。



## B. さや管付以外の場合

### (1) 事前準備

#### (1)-1 開口部の設置

管が区画貫通する位置に予め開口部を設置する(開口径φ80mm以下)。

### (2) 区画貫通処置

#### (2)-1 配管前の場合

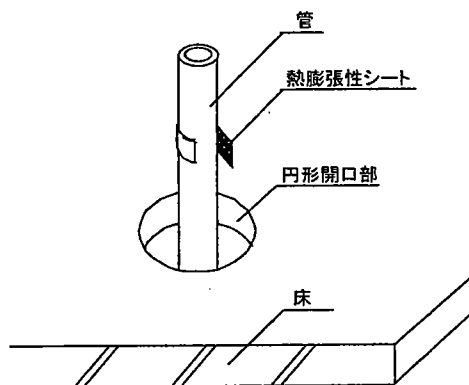
##### ①熱膨張性シート巻き付け位置の設定

熱膨張性シートを巻き付ける位置に墨出しをする。

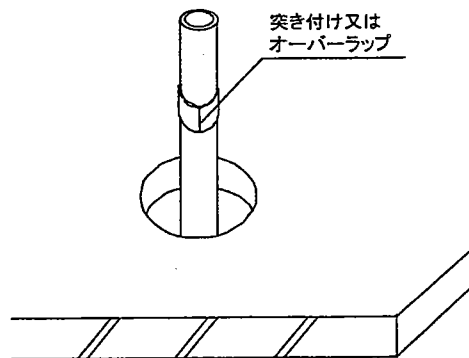
墨の位置は巻き付けた熱膨張性シートが確認できる程度(床面より10mm以下)の位置となるようにする。

##### ②熱膨張性シートの巻き付け

上記墨出しした位置に従い、熱膨張性シートを巻き付ける。熱膨張性シートは巻物のまま直接管に巻き付けてもよいし、所定の長さに予め裁断したものを巻き付けてもよい。



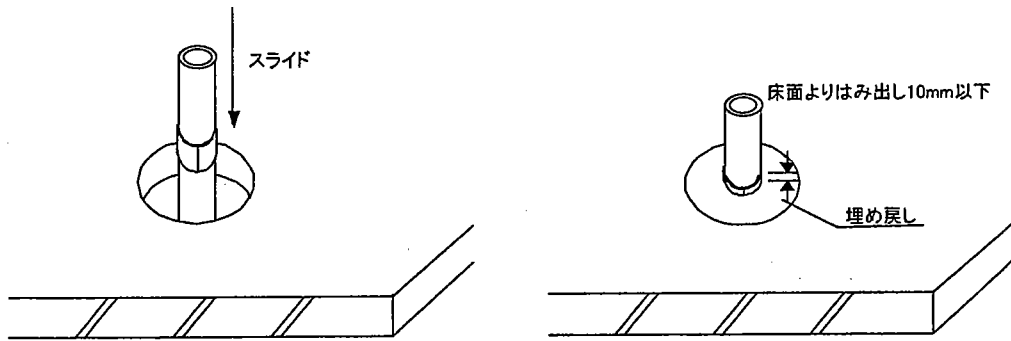
また、熱膨張性シート巻き付けの初端と終端は隙間なく必ず接するように巻き付ける(オーバーラップ可)。





③開口部の埋め戻し

管をスライドさせ、所定の位置に設置し、開口下部に当て板をあて、モルタルで埋め戻しする。



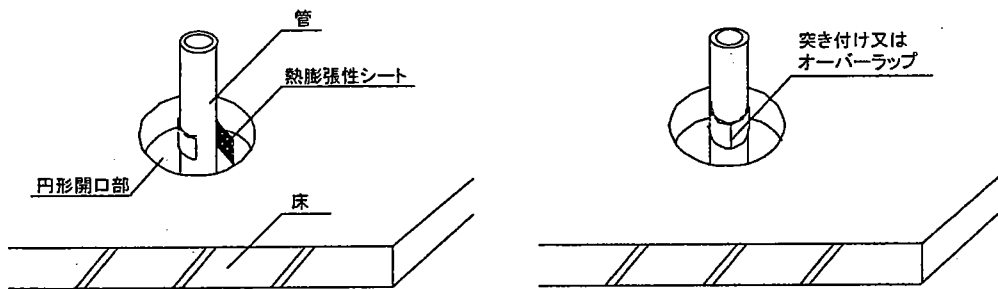
(2)-2 配管後の場合

①熱膨張性シート巻き付け位置の設定

壁面より10mmの位置に墨出しをする。

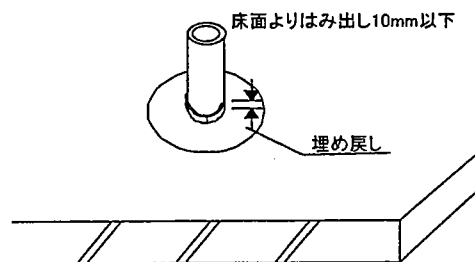
②熱膨張性シートの巻き付け

上記墨出しした位置に従い、熱膨張性シートを巻き付ける。熱膨張性シートは巻物のまま直接管に巻き付けてもよいし、所定の長さに予め裁断したものを巻き付けてもよい。また、熱膨張性シート巻き付けの初端と終端は隙間なく必ず接するように巻き付ける(オーバーラップ可)



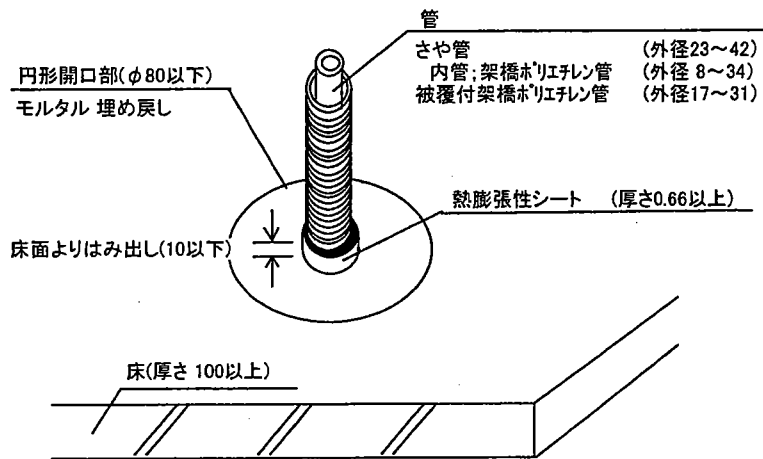
③開口下部の埋め戻し

開口部に当て板をあて、モルタルで埋め戻しする。



<施工図>  
・斜視図

<ALCパネルの場合>



<コンクリートの場合>

